



南側の増築部分に設けられた新しいダイニング。床材には既存部分と同じ無垢パインを選び、経年変化を楽しむ。奥にダウンフロア&吹抜けのサンルーム。左の階段から中2階、2階へと至る。

Before



リフォーム前のK邸。板張りの外壁と白い窓サッシの対比が印象的な北欧風の外観。

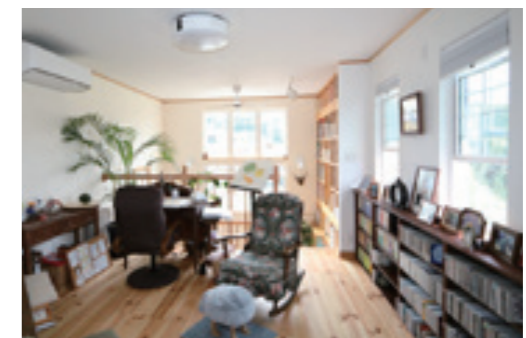
After



緑豊かな景色を一望できる屋根付きのウッドデッキ。



増築後のK邸。ウッドデッキが増築スペースの周りを囲む。



2階書斎兼ホビールームからサンルーム方向を見る。南側の大きな窓が室内を明るくする。

住み継ぐツーバイフォー Reform

敷地の形状や高低差を生かしながら “今を楽しむ家”にリフォーム (兵庫県 K邸)



DATA

リフォーム年 / 2022年9月
築年数 / 27年 (リフォーム実施時点)
規模 / 2階建て
既存建物面積・リフォーム面積 / 95.09㎡ (28.76坪)
増築面積 / 43.02㎡ (13坪)
設計・施工 / (株)ウエストビルド

築27年の自宅のリフォームを計画

60代のKさん夫妻はライフステージが変わり在宅時間が増えることを機に、これからの人生をより豊かにしたいと、築27年の自宅のツーバイフォー住宅のリフォームを決めました。依頼先を選ぶ際に重視した条件は、ツーバイフォー工法に精通していること、輸入建具を取り扱っていること、自分たちが目指す方向性を理解してくれる会社であることの3点でした。

スキップフロア空間を増築

K邸は高低差のある敷地に建つ別荘風の住まい。住み慣れた良さを残しつつ、ワクワクする空間を創出するため、設計者は西・

南側からの太陽光をたっぷり取り入れる、スキップフロアを採用した総2階建て・約43㎡の増築を提案しました。

増築部分はサンルームの床高を下げ吹抜けを設けて最大天井高5.8mを実現。1階のダイニング～中2階～2階の書斎兼ホビールームへと床高を切り替えた空間同士がゆるやかにつながり合い、外にはウッドデッキのテラスも設けられました。「まさに“今を楽しむ家”だと図面を見て理解しました」と夫妻。サンルームにはお二人が大切にしている観葉植物が元気に育ちます。

また、キッチンが西側に移してスペースを拡大し、大きな造作棚をつけて収納を充実。「お料理がより楽しくなりました」と奥様の笑顔もこぼれます。



既存のキッチンは構造上広くすることができなかったため、あまり使っていなかった客室に場所を移し、スペースを拡大。



吹抜けのサンルーム。南からの太陽光を多く取り入れる配置計画とした。

リフォームのプロが語る

構造を深く理解したうえで 間取り変更を提案

ツーバイフォー工法のリフォームには構造の理解が必須です。構造を理解し、どのように補強するかを提案できれば、K様邸のように間取りを変更し、スキップフロアの大きな空間を増築することも可能となります。

とくに中古の戸建て住宅の場合、詳細な図面がないことも多く、現場を見て構造や設備配管を正しく判断することがポイントとなります。

ツーバイフォー工法一筋の弊社では、経験と知識を培ったスタッフが対応し、ご希望を叶えることが難しい場合でも、異なるアプローチでより良いリフォームとなるような提案を心がけています。実際にK様邸では、キッチンスペースを広くしたいというご要望がありましたが、構造上、壁をとれないため、客室の位置に移動することを提案しました。お二人には「大正解!」と気に入っていただいています。

((株)ウエストビルド 古日山 久明氏)